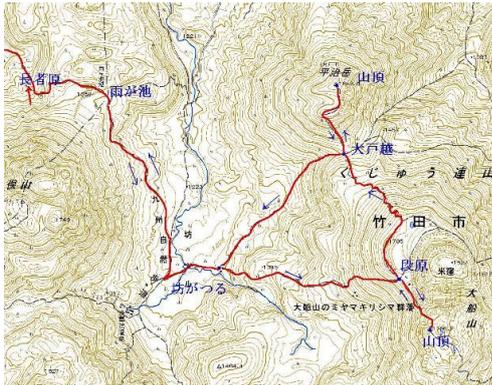


大船山平治岳 30周年記念登山

ルート図 (CJN九州低山そうつ記より)



クサボケ (雨が池)



坊がつるより大船山



法華院温泉山荘



H26.5.3(土)-4(日) 8名参加 (天草山岳会)

1号車-KN、NT、NM、NA

2号車-KY、SH、SM、SA

5/3 曇快晴 6:20 天草市役所 8名出発, 10:35 長者原 P,11:00 登山開始,12:05 雨が池手前(弁当),13:55 坊がつる,14:25 法華院温泉山荘着,17:30 夕食,18:30 総会

5/4 快晴 6:30 朝食,7:10 山荘出発,7:25 大船山登山口,8:50 段原,9:20 大船山 1786m,9:35 下山,9:55 段原,10:06 北大船山,10:51 大戸越,11:45 平治岳 1643m(弁当),12:16 下山開始,12:55 大戸越,14:00 坊がつる,15:09 雨が池,16:25 長者原 P 着,16:40 星生温泉(山恵の湯),21:20 大矢野入船,23:05 本渡解散,参加費 360km12000円(資料代,交通費,山荘代9000円,弁当代700円,温泉代800円,写真代,車代還元6000円)

本渡から8名が車2台で出発する。大矢野ヒライで弁当を買い、宇土市、嘉島町を経て空港線を通り大津からミルクロードに入る。朝の内はガスのような雲があったがしだいに快晴の天気になる。阿蘇外輪山を快適に走り、大観峰を通り過ぎる。左折してやまなみハイウェイに入り、瀬の本高原でトイレ休憩。牧ノ戸峠周辺は駐車場の車があふれていた。長者原に到着し何とか駐車場に車を置く。

KNさんの指導で体操し、11:00歩き始める。新緑を楽しみながらゆっくり歩き、登りの途中で弁当を食べる。雨が池ではクサボケの花が満開。クサボケはバラ科ボケ属の落葉低木。果実が瓜に似ていることから付けられたといわれる。

坊がつるの盆地と山並が見渡せる場所で休憩し、下り道から坊がつるへ入る。中央にテントサイト、右奥に法華院温泉山荘がある。

温泉に入り、休憩して夕食の後第30回総会を始めた。平成25年度活動報告では新入会員4名、会友1名入会し合計会員24名。年間山行報告、会計報告など採択。平成26年度活動計画では年間山行計画案、予算案、会報「観海アルプスNo.3」の発行等採択。新役員選出案

段原より大船山



大船山(1786m)頂上



平治岳(1643m)頂上



シャクナゲとオオカメノキ



採択。天草山岳会創立 30 周年記念登山を北アルプスで計画していたが会員の参加が確定できないためこれを中止し、今後 2 年程の間で個人が 30 周年記念登山を行い、会がサポートする案及び明日の大船山平治岳登山を 30 周年記念登山とする案を採択。また次回総会を全員が集合できる場所（白嶽等）で開催したらどうかとの意見があった。その後懇親会や温泉など楽しんだ。

5/4 快晴の空のもと 7:10 山荘を出発。坊がつるテントサイトを通り、急登して段原で稜線に出る。9:20 大船山（だいせんざん）頂上着。中岳、久住山、三俣山のながめが素晴らしい。段原へ帰り、北大船山を通り大戸越に下りる。礫石など足場が悪く暑くなってきたので少し疲れた方もいた。登り専用道を通り平治岳を登る。急登だが割と楽に前衛峰に着き、水平道を歩いて 11:45 平治岳（ひいじだけ）頂上着。記念写真を撮り弁当を食べる。大戸越への下山にかかり、下り専用道を下る。ミヤマキリシマはまだつぼみの状態で来年あたり再挑戦したい。大戸越から坊がつるまで割と長い下りで、坊がつるで水を補給する。「坊がつる」の名称由来は法華院白水寺の坊とU字形の盆地状地形のことで、湿原盆地と鳴子川の源流がある。坊がつる賛歌は有名。

雨が池までの最後の登りを登る頃帰りの登山者が多くなり、登りの登山者ともすれちがう。シャクナゲはまだ咲き初めの頃で、オオカメノキの白い花が鮮やかに目に着く。ショウジョウバカマは花が落ちて実が付いていた。

長者原へ下ると車と観光客が多くなる。車へ戻り星生温泉（山恵の湯）に入り帰途につく。往路を引き返し、大矢野入船チャンポンに寄る。ところが客が多いため長いこと待たされて 1 時間をついやした。ともあれ 23:05 無事本渡へ帰着し解散した。さらに牛深へ帰られる方お疲れ様でした。

[参考文献] ①九州の山（山と溪谷社）

②大分百山（日本山岳会東九州支部）(N)